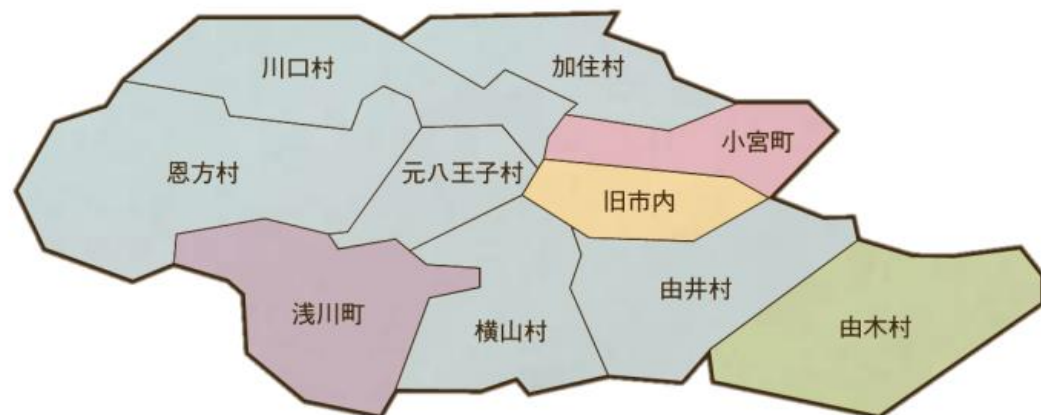


八王子未来デザイン2040に基づく 地域づくりの推進について

総合経営部 経営計画課 地域づくり担当

まちの変遷

八王子市が誕生したとき、面積は7.3 km²、人口は約4万2千人でした。その後、町村合併を経て、今のまちになりました。

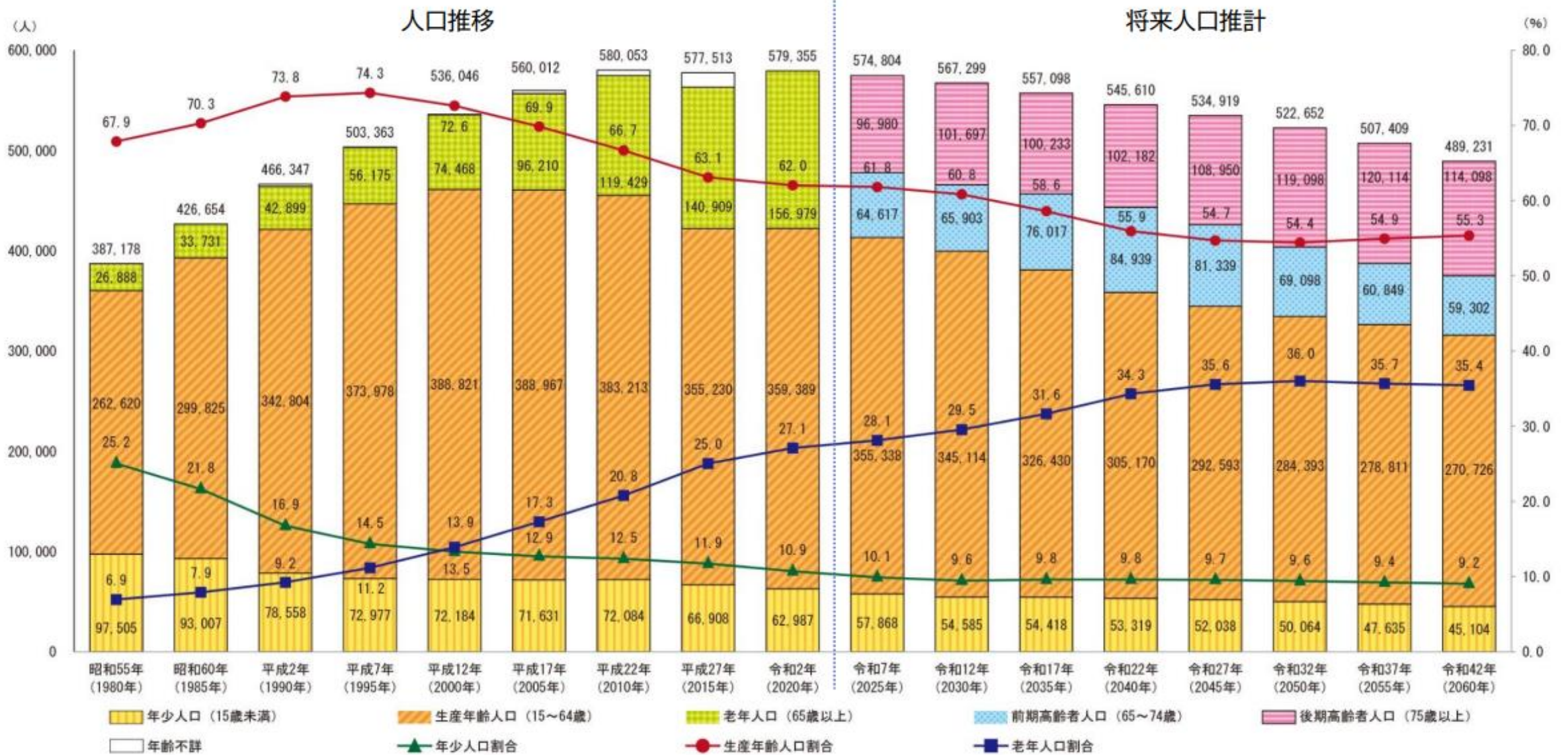


| 市域変遷の時期 | 市域変遷の経緯 |
|-------------------|--|
| 大正6年(1917年)9月1日 | 市制施行。総人口 42,043人、世帯数 7,126世帯、総面積 7.3 km ² |
| 昭和16年(1941年)10月1日 | 小宮町を編入。総人口 79,768人、総面積 19.88 km ² |
| 昭和30年(1955年)4月1日 | 横山村、元八王子村、恩方村、川口村、加住村、由井村を編入。総人口 132,796人、総面積 139.60 km ² |
| 昭和34年(1959年)4月1日 | 浅川町を編入。総人口 152,226人、総面積 166.06 km ² |
| 昭和39年(1964年)8月1日 | 由木村を編入。総人口 193,346人、総面積 188.19 km ² |
| 平成27年(2015年)3月6日 | 面積改定(国土地理院による精査の結果)により総面積 186.38 km ² |

市の概要

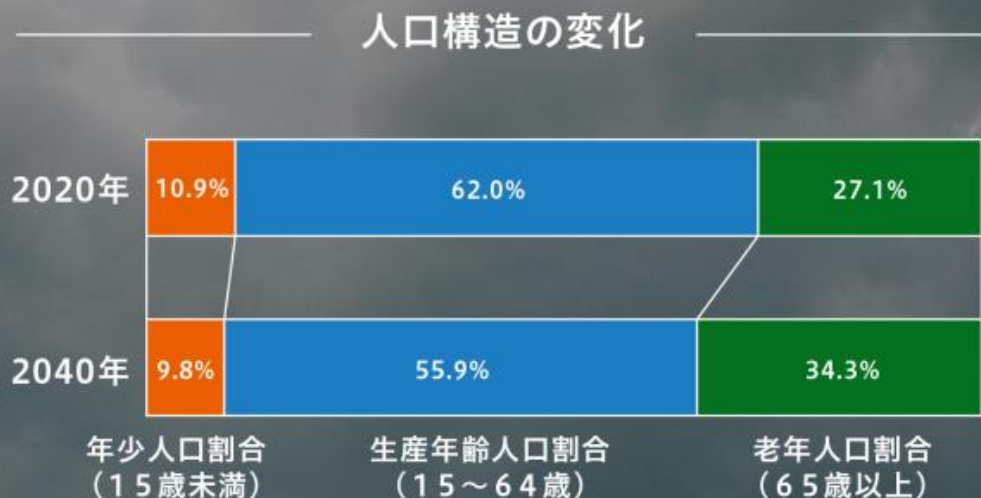
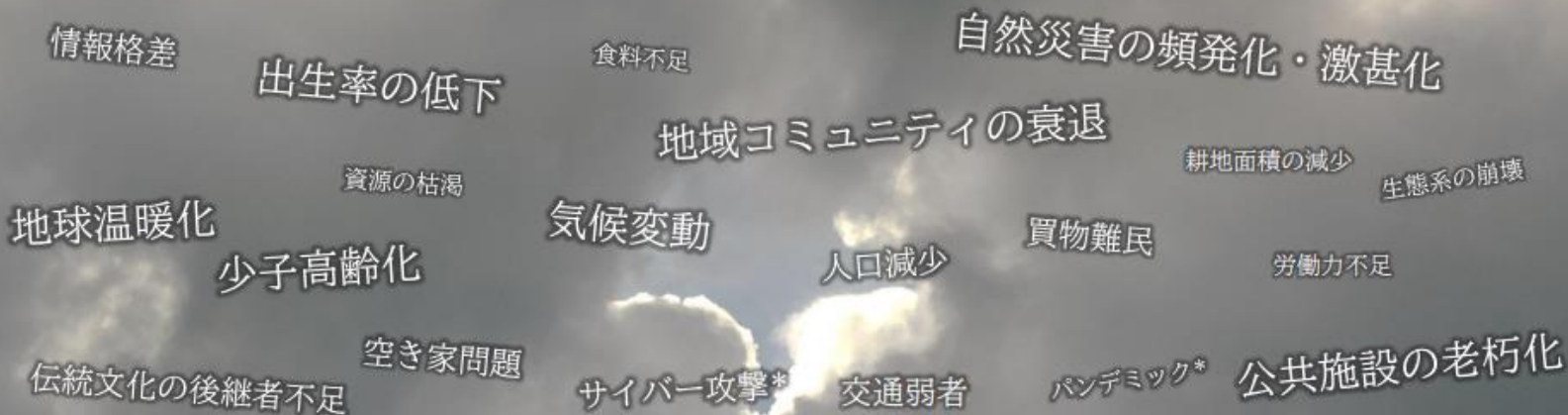
- 位置
東京都心から西へ約40 km、
新宿から電車で約40分の距離
- 面積
186.38 km²
都内では、奥多摩町に次ぐ2番目の大きさ
- 人口
579,355人(令和2年国勢調査結果)
- 市の木・花・鳥



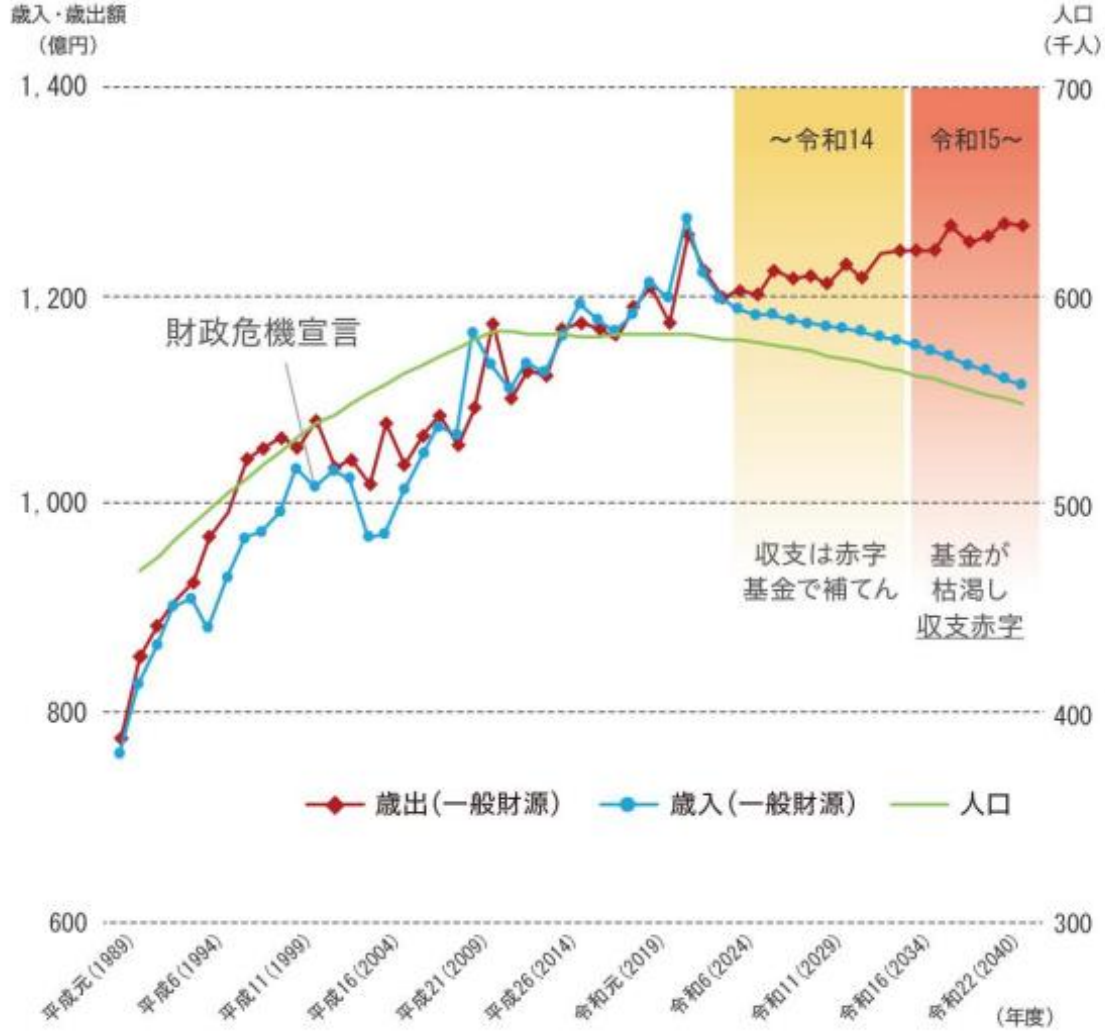


2040年を展望すると、厳しい社会環境の変化が見込まれ、
多くの課題が待ち受けています。

社会環境の変化や各分野の課題は、別冊（附属資料）に記載しています。



人口推計に基づく財政見通し（一般財源ベース）



実績

推計

基金・現金及び収支の内訳

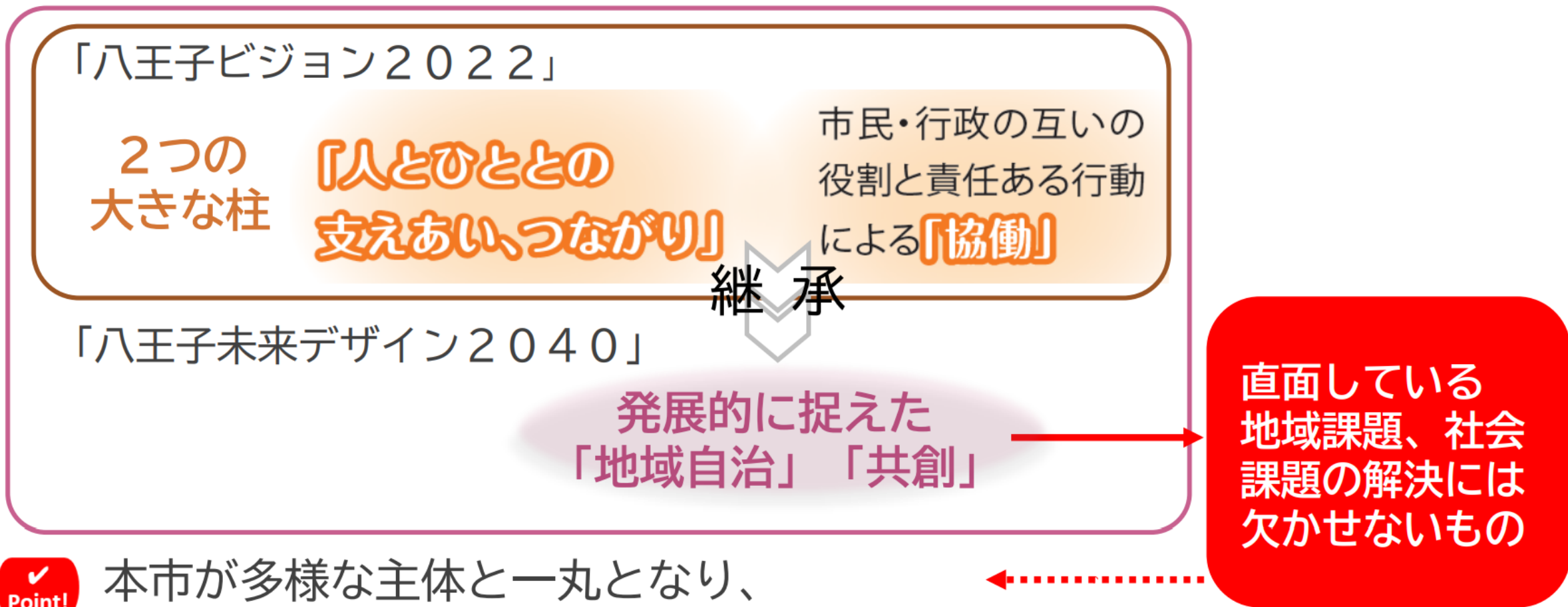


実績

推計

「八王子未来デザイン2040」 (令和5年(2023年)3月策定)

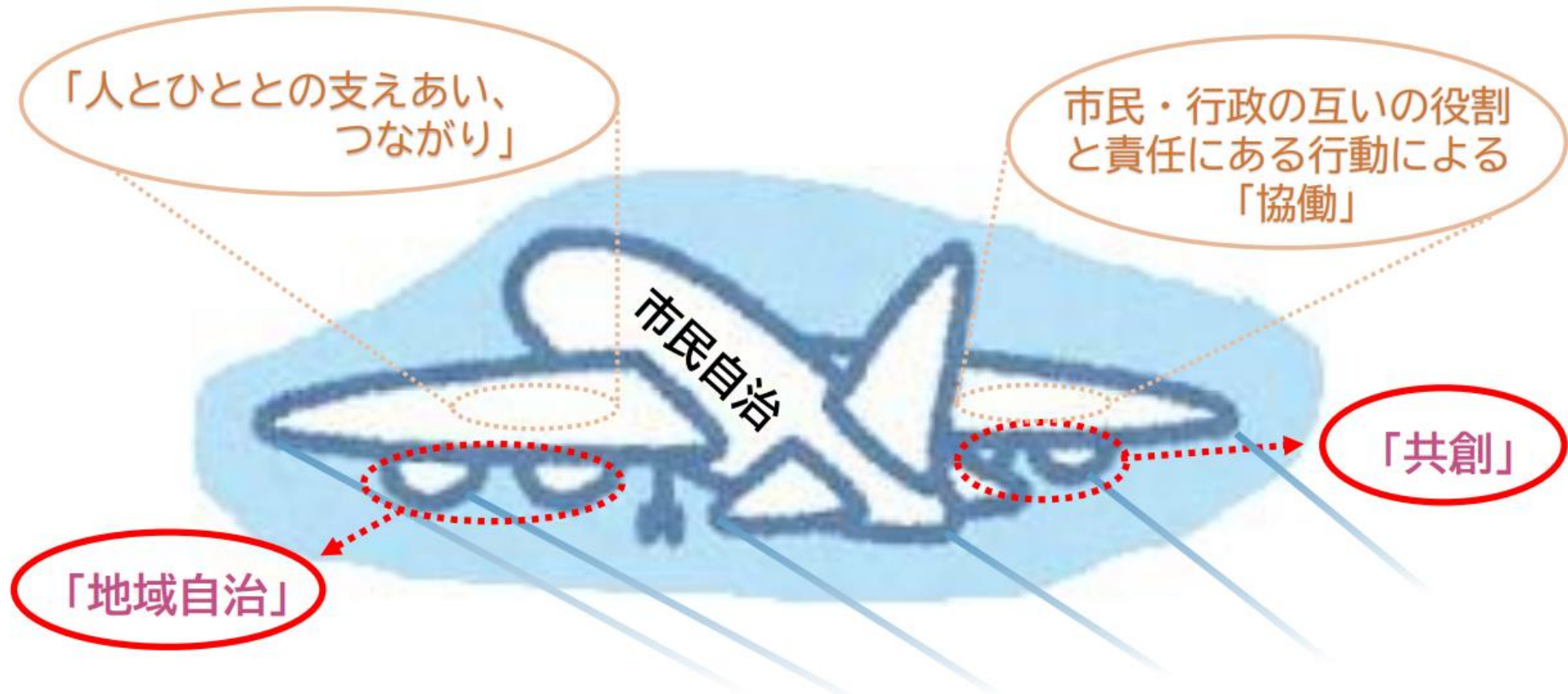
- 未来を拓く原動力



本市が多様な主体と一丸となり、チャレンジしていく決意の証として掲げる。

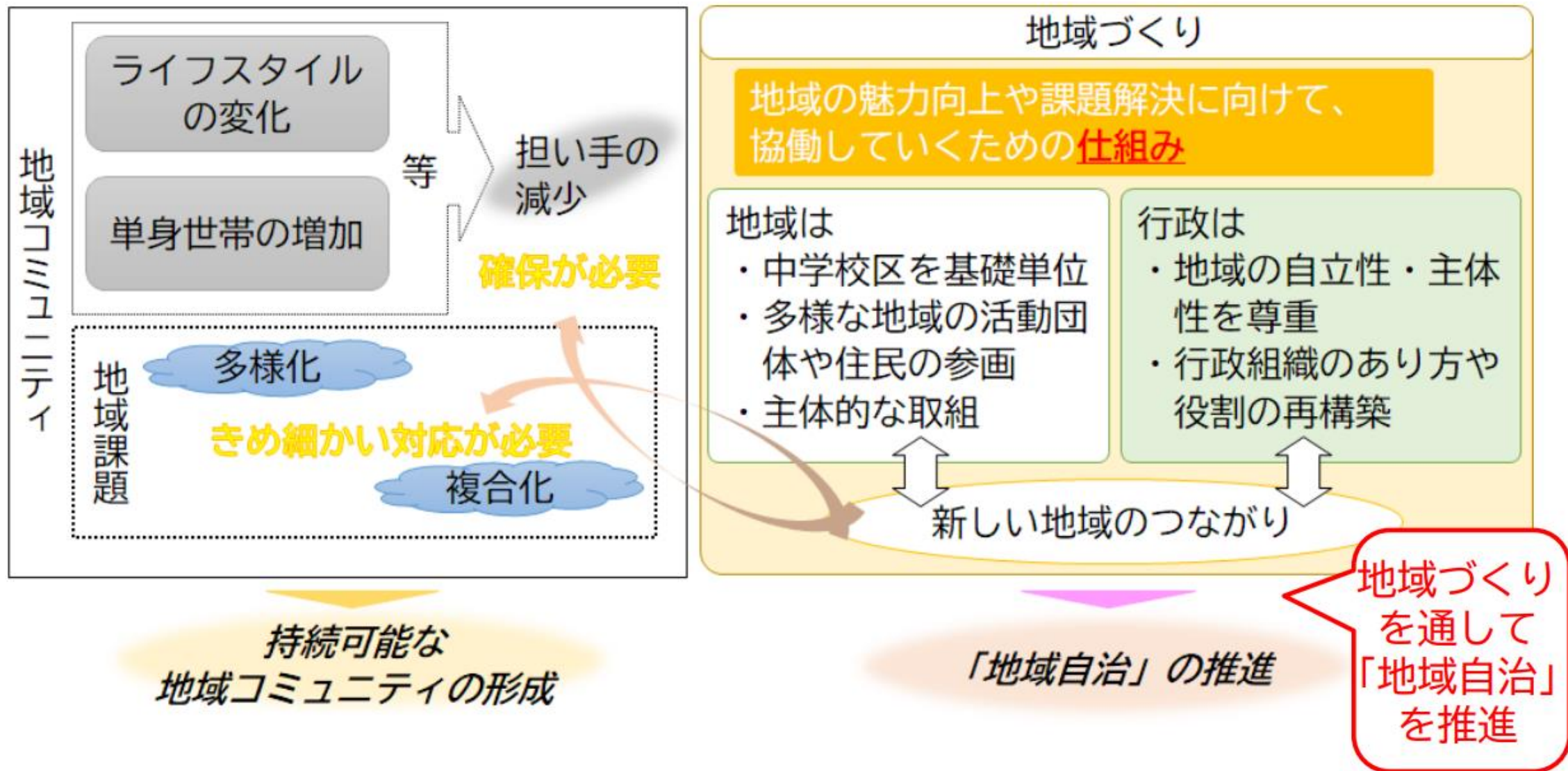
「八王子未来デザイン2040」 (令和5年(2023年)3月策定)

- 未来を拓く原動力



「八王子未来デザイン2040」 (令和5年(2023年)3月策定)

「地域自治」



「八王子未来デザイン2040」（令和5年（2023年）3月策定）

- 「地域自治」と「地域づくり」

主体的に地域のことについて考え、行動していくためのプラットフォームとなる推進会議を通じて、**「地域自治」を推進**していきます！

みんなで目指す2040年の姿

地域自治

地域のことを自分たちで考え、ともに行動することでみんなの幸せを実現

地域のプラットフォーム

推進会議

町会・自治会などの従来の地域コミュニティ

分野を超えたつながりや、連携した取組

現状

2030年

2040年

様々な活動団体や住民が分野別に活動
⇒活動の重複、担い手不足による負担等の課題

「八王子未来デザイン2040」 (令和5年(2023年)3月策定)

- 「地域づくり」の未来像

地域にとっての未来像

多様なつながりをもとに安心して暮らせる地域社会

地域の自立性・主体性を発揮

将来にわたり暮らしを支える「新しい地域のつながり」



中学校区単位に設置を進めている
推進会議を母体実践

行政にとっての未来像

地域に対する支援体制の確立

圏域や中学校区単位での多様な
施策・事業の展開

役割とニーズを踏まえた「地域
公共サービス」の実施



市役所(行政)の役割や体制を見直し
ながら、地域にとっての未来像を実現

地域づくりのステップ

1

地域の プラットフォーム 構築

- 地域づくり推進会議の設置
- 地域の居場所の検討・整備
- 庁内体制の構築
- 地域と行政のつなぎ役の検討

2

着実な ステップアップ

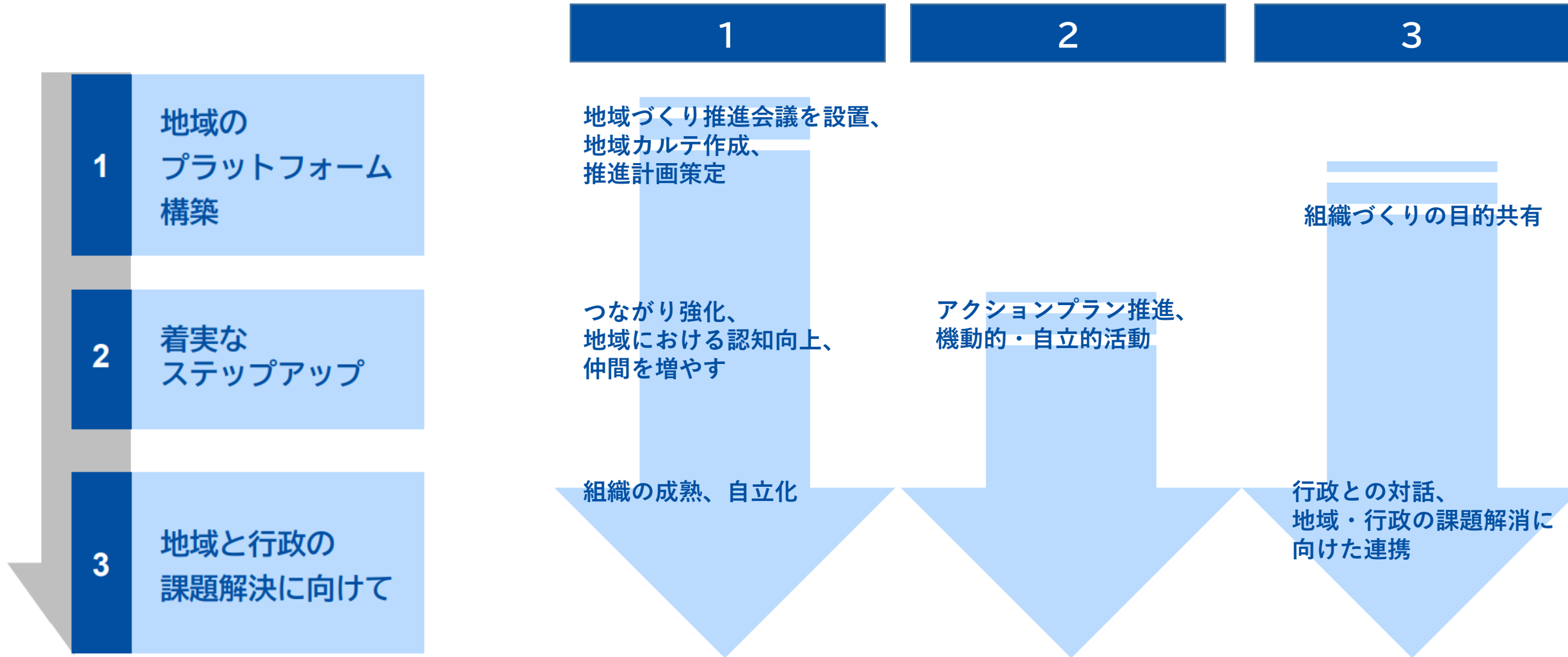
- 各地域の実情に応じた地域づくりの展開
- 財源確保に関する支援制度の検討
- 地域公共サービスについての検討

3

地域と行政の 課題解決に向けて

- 地域と行政の役割分担の検証・見直し
- 圏域や中学校区単位での施策展開

各ステップのイメージに合わせた推進会議の到達点・進め方



R5年度（2023年度）のモデル地区（川口・長房）での検討

- これまで「やりたいこと」「できること」に取り組んできていただいたことの経験を活かし、「地域自治」※をキーワードに、川口・長房中学校区版の地域自治モデルを一緒に考えていく

※「地域自治」

「地域自治」＝『地域のことを自分たちで考え、ともに行動することでみんなの幸せを実現していくこと』

『「地域づくり」を通して（略）「地域自治」を推進し、地域と行政がともに未来へ向かって歩んでいきます』

（『八王子未来デザイン2040』P38 未来を拓く原動力（1）地域自治 より抜粋）

- 市の「地域づくりモデル地区」として「地域自治」の一つのモデルを構築していただき、行政側の制度構築の検討材料をいただく。

R5年度（2023年度）のモデル地区（川口・長房）での検討

・地域づくり推進計画を通じたプラットフォーム強化・行政との連携

- ・アクションプランの進捗把握
- ・アクションプラン推進を通じたプラットフォーム強化（アンケート等による定量化）
- ・現在の行政・地域課題（公共施設マネジメント等）の検討連携

・地域自治モデルの構築

- ・～令和6年3月頃までを目途に検討する
- ・各回30～60分程度、川口・長房中学校区版「地域自治モデル」を検討する
- ・市側で用意した検討ワークをもとに、議論する

「地域自治」のための検討・整理事項の例

「何をする？」 「どういう組織？」

「代表者は？」 「参加者は？」 「予算は？」 「事務は誰が？」

「備品は？」 「場所は？」 「誰が参加？」 「会計監事は？」

「会計期間は？」 「市との関りは？」